

.....

.....

.....

1

10. ヒヤリハット体験当事者の属性（回答者は当事者A）

○当事者A	年齢[33]歳、勤続年数[15]年、現場経験年数[15]年、階級[消防士長]、同様の活動 [初めて]、任務 [車長]
○当事者B	年齢[24]歳、勤続年数[3]年、現場経験年数[3]年、階級[消防士]、同様の活動 [初めて]、任務 [隊員]
○当事者C	年齢[]歳、勤続年数[]年、現場経験年数[]年、階級[], 同様の活動 [], 任務 []
その他 (当事者が4人以上の場合)	

11. 事例発生経過。

	誰(何)が	なにをした	その他・備考など
経過1	当事者A	現場を確認し、ホース延長を指示。	
経過2	当事者B	第1線ホース延長した。	
経過3	当事者A、B	建物西面から放水。	
経過4	当事者A、B	関係者からアセチレンボンベがあることを聴取	
経過5	当事者A、B	煙と炎により視界が悪くボンベが確認できない	
経過6	当事者A、B	消火中にボンベを確認。火炎は確認できない。	
経過7	当事者A、B	アセチレンガスが噴出しているのを確認する。	
経過8			
経過9			
経過10			

【その事例発生時の状況について】

.....

○事故の場合 : 事故が起きたのはどうしてだと思うか？

ヒヤリハットの場合：ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

たまたま、負傷事故にならなかった。

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。	いいえ
・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。	はい
・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。	いいえ

b. 注意力が欠如していた

・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	いいえ
・活動終息（鎮火等）や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	いいえ
・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	いいえ

c. 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	はい
・活動に対する経験が不足していた。	はい

d. 心身の不調があった

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用方法が誤っていた。	いいえ
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○活動環境について

f. 障害物や自然環境（雨・濃煙）によって視界がさえぎられた。

・障害物（建物等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ
・特異環境（煙、暗闇、降雨等）のため周囲の状況が見えなかった。	はい

g. 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	いいえ
・暑かった（寒かった）。	いいえ
・野次馬が多かった。	いいえ
・現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h. 足場が悪かった。

・足元が躓いたり滑りやすかった。	いいえ
・足元の強度が不足していた。	いいえ

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった（適切な指示を与えられなかった）。

・活動指示が得られなかった。（無線が通じない等。）	はい
・指示内容に誤り・偏りがあった。	いいえ
・指示内容が実施困難であった。（周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。）	はい

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	はい
・隊員が不足していた。	はい

○その他

l. その他の理由があった。

いいえ

炎上建物脇のアセチレンボンベの爆発危険



・発生日時：平成21年5月11日 午後16時頃

経過	現場の状況	隊員A	隊員B	備考
		車長／消防士長 ・年齢 33歳 ・勤続 15年 ・現場 15年 ・同様の活動：初めて	隊員／消防士 ・年齢 24歳 ・勤続 3年 ・現場 3年 ・同様の活動：初めて	
出動指令 出動途上 現場到着	火災の出動指令			屋外火災への消防出動
		現場到着		
		現場を確認し、ホース延長を指示		
活動初期	火災が最盛期		第1線ホース延長した	火災鎮圧に重点を置いた
		建物西面から放水		
		関係者からアセチレンボンベがあることを聴取		
		煙と炎により視界が悪い	煙と炎により視界が悪くボンベの位置を詳細に把握できなかった	
		消火中にボンベを確認 火炎は確認できない		
活動中期	アセチレンボンベが火災により受熱され安全弁が破損、ガス漏洩による爆発危険	アセチレンガスが噴出しているのを確認		

◎ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？
○直接的な原因：状況判断に問題があった。 ・たまたま、負傷事故にならなかった。

◎ヒヤリハットが起きた背後要因
(心理・体調について) ・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。 ・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。 ・活動に対する経験が不足していた。 (活動環境について) ・特異環境(煙、暗闇、降雨等)のため周囲の状況が見えなかった。 (指揮・管理について) ・活動指示が得られなかった。(無線が通じない等。) ・指示内容が実施困難であった。(周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。) ・隊員の連携が不十分だった。 ・隊員が不足していた。